

早稲田大学演劇博物館 2015 年春季企画展
「幻燈展——プロジェクション・メディアの考古学」関連イベント

幻燈会 & トークイベント 「甦るファンタスマゴリア」

日 時:2015 年 6 月 5 日(金)16:00~19:00
会 場:早稲田キャンパス大隈記念タワー地下 104 号室
主 催:早稲田大学演劇博物館

講 師:松本夏樹(武蔵野美術大学、大阪芸術大学非常勤講師)
鷲谷 花(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)
紙屋牧子(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

ピアノ伴奏:柳下美恵(サイレント映画ピアニスト)
ディスカッサント:細馬宏通(滋賀県立大学教授)

幻燈会 & トークイベント「甦るファンタスマゴリア」では、ランタニスト(幻燈師)としても活躍する研究者にご登壇いただき、実際に当時のプロジェクター、スライド/フィルムによって幻燈を上映しながら、映画以前/以後のメディアとしての幻燈の魅力について語ります。また幻燈と関連する初期の映画、アニメーションの上映もあわせて行います。ライブでの語りとピアノ伴奏付きのプログラムです。スライド/フィルム、アニメ/実写、幻燈/映画、静止/運動、上映/上演、プリント/手彩色、アトラクション/物語、フィクション/ドキュメンタリー、映画以前/映画以後……。幻燈というメディアはさまざまな境界を横断しながら、「映像」の持つ新たな魅力に気づかせてくれます。そして、それはデジタル化された映像に囲まれている現在の光景とも地続きの世界でもあるのです。

＜上映予定プログラム＞

映画以前の幻燈からアニメーションへ

▼「仕掛け種板数種」「儉約奨励」「名所・風景」「芸者・美人」(幻燈)

「仕掛け種板」以外の3シリーズは60ミリ角ガラス種板/明治期

▼「日露戦争」「滑稽・化物」(幻燈)

以上2シリーズは40ミリ角ガラス種板/明治期

▼「最後の一滴」

カラーリトグラフ・アニメーション/1904年のニュルンベルクのG・カレット製ループフィルム

▼「活動写真」

2色型刷リアニメーション。明治末の日本製ループフィルム。

▼「化物」

劇場公開実写フィルムに墨書のアニメーション。大正初期の子供による自家製ループフィルム

▼「浦島太郎」

大正7年に公開された北山清太郎製作のアニメーションの、家庭用玩具フィルム(ハグルマ)

▼「漫画祭」

玩具フィルムメーカーのオリジナルアニメーション

▼「空の桃太郎」

昭和6年公開、村田安司製作のアニメーションの家庭用玩具フィルム(大毎キノグラフィ)など

昭和期の幻燈の復興

▼「Magic Lantern」

Magic Lantern をモチーフにした1903年ジョルジュ・メリエス監督の無声映画

▼「トラちゃんと花嫁」

同名アニメーション映画のカラー幻燈版

▼「レ・ミゼラブル」

東横映画製作、伊藤大輔・マキノ正博共同監督の同名映画の幻燈版

▼「如是姫」

木村白山画、善光寺の縁起を物語る仏教講話幻燈。(原作：中山徳重、脚色：三樹茂、監修：善光寺大勧進、作画：木村白山、製作：奥田商会)